

雪上運動会種目説明書

◎スノーフラッグ競争

約20メートル先のフラッグ目指して競争する競技です。

団体の規模やチーム数によって、一度に競争する人数とフラッグの本数を決定してください。

スタート時、選手はフラッグに背中を向けた状態でセット、審判の合図でスタートします。

フラッグ付近の雪の堅さ・締まり具合・凍結具合を確認し、あらかじめスコップ等でやわらかくほぐしておくか、新雪をかぶせておくように準備をしておきましょう。



◎雪入れ競争

バケツに向かって、ロープの外から雪を投げ入れ、バケツを雪で満タンにするまでのタイムを競います。

投げた雪で倒れないようにバケツを雪に少し埋めて固定します。

満タンの目安は団体で独自に設定していただきますが、概ね、写真のように、バケツのフチまでまんべんなく雪が溜まった程度が目安となります。



◎ボール運び競争

おたまに乗せたボールを落とさないように、20m先のコーンまで往復し、リレーを行う競技です。

ボールを落とした場合は、その場で拾って再スタートすることができますが、団体の独自ルールがあってもよいでしょう。



◎雪積み上げ競争

チームで協力して雪を積み上げ、制限時間内にどれだけ高く雪を積み上げられるかを競います。

競技中に相手チームがさわって雪が崩れることもあるので、チーム間の距離は十分離しておきましょう。

競技終了後、各チームの雪山の高さは、元の地面の高さが積雪によってずれていることもあるので、メジャーで計測し、勝敗を決定します。



◎そり引きリレー競争



チームの一人を乗せたそりを、コーンまで引いて往復し、リレーをする競技です。引手は2人ずつが引きやすいですが、体格差などを考えて、団体で決めてください。

コーンを回る時などに、チームメイトをそりから落とさないように気を付けましょう。そりに乗る人はヘルメットをかぶってください。(貸出可能)